

お便り

POST

## ◆私の「カルチャー・いんふお」◆

まずは外国のアニメ映画をご紹介します。  
『ぼくの名前はズッキーニ』（スイス・フランス 2016年 C. バラス監督）。自称ズッキーニことイカールは9歳の男の子。ビールを手にテレビの前から動かない母親をある出来事から亡くします。後悔の念が頭から離れない彼を児童養護施設に連れてきたのは、取り調べを担当した警官レイモン。ホームシックあり、いじめあり、子どもたちの中の嫉妬心あり、いたずらもありの場所で、次第お互いを理解していく彼女たち。なんといっても、およそかわいいとは言えない子どもたちのキャラクター、顔がとってもチャーミング。児童虐待や施設の生活を人形アニメにしてみようフランス。フランス語の響きがまた楽しい作品です。

次は本のご紹介です。『孤宿の人』（宮部みゆき 新潮文庫 2009年）。時は江戸の末期。母を亡くした引手（同心の補佐。岡っ引き）見習いの17歳の少女宇佐と、江戸からの金比羅参りの途中で置き去りにされた9歳の少女ほう。二人は瀬戸内の海辺の町、丸海で出会い、姉妹のように慕い、しかしそれぞれの運命に翻弄されます。丸海藩は江戸幕府の重罪人、元勘定奉行船井加賀守利の身を引き受けさせられ、幽閉します。ところが家族殺しの極悪人のはずの加賀様に、ほうは幽閉先で下働きとして出会い、娘のように愛され手習いを仕込まれます。ほうの身の上を心底心配する宇佐もまた周囲の人々に愛される天涯孤独の娘。少女二人と丸海藩の不穏な行方が平行して描かれ、サスペンスのように物語が進みます。とっつきにくい時代ものというジャンルですが、登場人物の心情が丁寧に描かれた大作です。小説ですが、讃岐丸亀藩と鳥居耀藏氏との史実がモデルになっています。（AK）

## お茶の水女子大学 ECCELL 社会人プログラム 「変革期の乳幼児教育・保育を考える」 平成 30 年度 後学期（10月開講）受講生募集

現職保育者や一般の社会人対象の集中講義を開講します。受講生は「お茶の水女子大学 科目等履修生」として登録され単位が認定されます。  
\*男性も受講可能です。

### 【開講科目】

- ・「乳幼児の世界Ⅰ」（1単位、集中講義）  
担当：宮里暁美
- ・「乳幼児教育論Ⅴ」（1単位、集中講義）  
担当：未定

【出願期間】平成30年7月下旬

【URL】<http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji>

【Eメール】[nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp](mailto:nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp)

【TEL】03-5978-5998（担当 内海）

## ◆お茶の水女子大学附属幼稚園 【英語版】研究紀要 出ました◆

【英語版】研究紀要『Children's Inquiring Mind and Usability in Life: 'Tools' Grasp, Choose, Use』（2013 Research Bulletin）を刊行しました。カラー写真満載の全30ページ。海外の幼児教育関連機関への発信の一助になればと願っています。

平成25年度研究紀要「探究力・活用力が発揮される生活（2年次）『道具』持つ・選ぶ・活かす」（日本語）も残部がございます。

お問い合わせは、お茶の水女子大学附属幼稚園 FAX 03-5978-5882 または、  
e-mail:ochayou@cc.ocha.ac.jp まで。